



酒田の最上川 1992 60M 第54回 一水会 油彩キャンパス 酒田市

2019年 展示案内

真下慶治 素描展	4月12日(金) - 6月16日(日)
最上川 I	6月21日(金) - 8月25日(日)
最上川 II	8月30日(金) - 11月17日(日)
最上川 III	11月22日(金) - ²⁰²⁰ 4月5日(日)

酒田市 松山文化伝承館

〒999-6832 山形県酒田市字新屋敷 36-2

TEL 0234-62-2632 FAX 0234-62-2638 E-mail densho@matuyama-net.com

開館時間◇9:00～16:30 休館日◇月曜日(但し祝日の場合は翌日)・12月29日～1月3日

入館料◇一般 360円 / 高校・大学生 250円 / 小中学生 100円 団体 20名以上◇一般 290円 / 高校・大学生 210円 / 小中学生 90円

冬の最上川をライフワークに60年に及び描き続けてきました 米沢の上流 松川・飯豊の上流 白川・酒田の河口まで限なく描いています

陸羽西線 津谷駅の近くに医者である父親の診療所と居住があったので若い時代は最上峡から酒田を数多く描いています また20才の時描いた作品は秋田「船川港」です 一水会賞受賞を受賞しました

山形に住居を移してからは取材場所が大石田・上流 朝日町とか上郷 長井と大きく拡がりります

1968年 山形大学を辞め 村山市大淀にアトリエを建て

1988年 もう一つ 旧松山町にアトリエを建てました

1992年 描いた「眺海の森から」は初夏のゆったりした時間だったでしょう

1992年「酒田の最上川」の場所は数多く描いています



1944年に描いた12号の作品があります 河口付近の大きな空の風景のなか 飯森山は象徴的だと思います

最上川河口 1944 荘内南洲神社があり 土門拳記念館 出羽遊心館 酒田市美術館 東北公益文科大学と今では文化の柱になりました

5月1日に元号が変わります 4月1日に「令和」と発表になりました 大正から昭和・平成・「令和」と変わろうとしています

下水道が完備して 近年の最上川の水は綺麗になりました 昨今の天変地異で多くの災害がありますが変わることなく 海・山・川 いっまでも美しい最上川があることをねがっています

最上川美術館・真下慶治記念館 館長 真下 清美



最上川美術館 真下慶治記念館

〒990-0021 山形県村山市大字大淀 1084-1

TEL 0237-52-3195 FAX 0237-55-2152

E-mail mogamigawa@city.murayama.lg.jp

http://www.massimo-k.org

開館時間 / 9:00 ~ 17:00 休館日 / 水曜日

入館料 / 大人 300円 高校生以下無料

JAF・SD カードご提示で無料になります



真下 慶治 経歴

西暦	年号	事項
1914	大正 3	山形県最上郡戸沢村津谷に生まれる
1931	昭和 6	文化学院 美術部入学
1940	15	紀元2600年奉祝展 イタリア政府買上
1946	21	第1回(春)日展特選 文部省買上 第2回(秋)日展特選
1958	33	第4回 斎藤茂吉文化賞受賞
1968	43	山形大学教授となる
1971	46	日展 審査員となる 以後3回審査員 村山市大淀にアトリエを建てる
1977	52	一水会常任委員となる
1986	61	日展評議委員となる
1988	63	飽海郡松山町にアトリエを建てる
1992	平成 4	第7回 小山敬三美術賞受賞
1993	5	9月8日逝去(80才)
1998	10	酒田松山文化伝承館「真下慶治記念室」
2004	16	村山市に「真下慶治記念美術館」新設

2019年度 松山文化伝承館 新館 企画展示室

松山の甲冑と火縄銃	4月12日(金) - 6月16日(日)
昔からの手仕事	6月21日(金) - 8月25日(日)
縄文時代の庄内	8月30日(金) - 11月17日(日)
石塚三吾 絵画	11月22日(金) - 2020年2月9日(日)
まつやまのお雑様	2月14日(金) - 4月5日(日)

松山文化伝承館 本館 常設展示室

第一展示室 松山藩の歴史と文化に関係した資料を常設展示

第二展示室 松山出身の哲学者・阿部次郎をはじめ、郷土出身の人物の業績を展示

酒田市 松山文化伝承館